

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育者のための社会人基礎講座 ナンバリング：2319	教員の免許状／保育士資格取得のための必修科目	単位数：2単位 (半期) 演習	担当教員名：三友玲子 担当形態：単独
科目／系列	／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目			
授業の到達目標及びテーマ 1. 社会人として、職業人として社会常識と職業倫理を意識した行動ができる。 2. TPOを心得た適切な敬語表現での会話や文書作成ができる。 3. 社会人として、保育者として必要なコミュニケーション基礎力を身につけることができる。			
授業の概要 より良い保育・教育を行うためには、保護者や同僚、地域の人々など周囲の協力と支援が重要となる。そのためにも職業意識や社会人としての常識を身につけることが求められている。 この授業では「信頼される保育者」を目指して、正しい言葉遣いや立ち居振る舞いなどを含めて良識ある社会人・職業人としての基礎を学び、態度変容に結び付ける。			
授業計画 第1回：オリエンテーション 授業の進め方と社会人としての心得 等 第2回：第1章 信頼される保育者の要件 第3回：第2章 あいさつ・おじぎなどマナーの基本 第4回：第3章 第2章を踏まえ、保育者にふさわしい服装 第5回：第4章 言葉づかい：声を出して正しい言葉づかいを 第6回：第5章 電話応対：電話のマナーを意識した電話応対 第7回：第6章 来客応対：基本の流れで、来客応対の実際 第5章と第6章の応用：ロールプレイ 第8回：第7章 訪問：訪問の流れ（ロールプレイ中心） 第9回：第8章 文書：文書の基本（目的に応じた文書作成） 第10回：第9章 コミュニケーションの基本1：聴くことの大切さと態度 第11回：第10章 コミュニケーションの基本2：話す注意点と重要性 第12回：第11章 コミュニケーションの基本3：クレーム対応事例から 第13回：第12章 保護者とのコミュニケーション （グループワークで話し合い、ロールプレイ） 第14回：第13章 保育の場における保育者間の人間関係 （グループでの話し合いと結果発表） 第15回：まとめ、社会人・職業人としての心構え 定期試験：筆記		授業時間外の学習 （前後学習には90分程度必要） ・基本ワークの課題などを済ませて、授業準備をしておく。 ・グループワークに積極的に参加するために事前に自分の考えをまとめておく。 ・ロールプレイの課題は、状況を想定し準備をしておく。 ・文書作成では、目的を設定し、それに応じた文書を作成する。 ・事例については、その対応・対処方法と理由を準備をしておく。 ・課題は、毎回、仕上げておき、授業終了後は自分の答えとの違いを確かめる。	
授業の方法 学生自らで学びとり、身につけること、つまり態度変容を目標としているので、ロールプレイなども取り入れた学生主体の授業を進める。そのため事前事後の学習が重要である。授業時間中にフィードバックテストを行う。			
テキスト 『信頼される保育者のためのコミュニケーションスキル』 藤田利久編著 西文社			
参考書・参考資料等 授業の中でその都度紹介			
学生に対する評価 目標の達成度評価基準はルーブリックで示す。 発表（10%）、課題提出（40%）、小テスト（20%）、定期試験（30%）を総合的に評価する。			
履修上の注意 配布されたレジュメはきちんとファイルする。 学生一人ひとりが授業の主役となるため、出席はもとより毎回、事前に課題を仕上げて授業に臨むこと。また、自覚をもって信頼される保育者となるよう積極的に学ぶ姿勢が重要である。			
実務経験の有無	有	実務経験	民間病院医事課 秘書実践科目担当
実務経験を活かした教育内容 採用面接・新人教育・秘書実践などの経験を活かした授業を行う。			